

## 第 31 回大須大道町人祭

英傑行列を見て、伏見から白川公園を経て大須に向かった。写真は途中の歩道橋から本町通りを撮ったものだ。名古屋城から大須の方にまっすぐ伸びる本町通りは、城下町・名古屋の「幹線道路」であった。最近『古地図で見る名古屋』という本が刊行され話題を呼んでいる。地図好きなので早速買って「町づくりの秘密に迫る全 12 図」を見ていると、名古屋の過去から現在までの旅ができる。



大須に行くと、とにかく人で一杯であった。10月11日と12日に大道町人祭が開催され、いつも以上の賑わいであり、人をよけながら歩いた。このイベントは31回も開催されており、大須の活

性化に大いに力を発揮してきた。案内チラシによると、「1978年以来、大須を舞台に



動きのある『大道芸』(45組200名)町を練り歩く祭の華『おいらん道中』を中心に、昔懐かしい『風物屋台』が軒を連ね、日本一伝統ある大道芸人の集う全国的にも有名な「お祭り」なのだ。大須商店街とイベントの関係は、なかなか興味深いテーマだ。

途中で「おいらん道中」にも出会うことができ、祭りの雰囲気味わえた。商店街の一角で大道芸が行われて、多くの人がユニークな芸のパフォーマンスを楽しんでいた。大須は「元気な商店街」としてだけでなく、名古屋の観光スポットとしても、全国に知れわたるようになってきた。いろいろな角度から大須を検証していきたい。

(2008年11月6日 記)